



夕刊 行發日九十月九 定価一冊五圓 全年五拾圓 郵費別加



小品 三首

雨は霽るらしい夕明りだ、花盛りのはばの如き夕たすたとく... 花盛りのはばの夕あかり! どこかで... 遠いとはい空を雲がながれる風がながれる

木曜時評 柏亭 浪人

詩吟と漢詩の流行に就て 一時、詩吟といふものがレコードまでどん／＼買われて流行の兆が見えたが...

この日は遠くない。然らばよし。それは、選挙が悪いのでなく、国民の人格的修養が足りないのではなか...

選挙正の神様に就いて それからもう一つ、近ごろの選挙正といふ運動で...

詩みなしと 水戸高女 柳橋さち子 いちめろよ、いちめろよ...

誰が殺したか 今野賢三 龍造寺 龍造寺 龍造寺...



小説 誰が殺したか 龍造寺 龍造寺...

「七夕祭」選者各位へ 入つたやうだが、どうぞ各名前にあはれ、大事に見て...

それを棒に振つて幾體性もがくほど美しい死體が、心正しきものはたまに忍んで来ることも出来るはず...

島田忠夫氏は来る十月より雑誌『研究』を發行する所になり、加藤文雄...

秋の日がけはなごも色づいて山あけはも色づいてきた、これからは山遊びがたのしい...

俺は...俺は、この發明を世界に發表して自分の力をみとめしめねばなら...

自分は何の爲に、この研究を完成したのだ、自分の秘密な愉快の爲のみではなかつた...

株式現物賣買 三共商會 平町大町通り 電話三三六〇番

外科 内臓外科 レントゲン線 安齊外科醫院 平町町赤心堂病院

小兒科 志賀醫院 平町南町五〇番地 電話一六二番

自轉車。リヤカー。フタバ商會。吸入用酸素純度99%。關内藥局。電話四〇番

磐城共濟病院 (福島縣平町) 電話六四二番

小兒科 石山謙郎 部長 電話六四二番

お醤油は... ヤマフル 山崎合名會社

耳鼻咽喉科專門 山内醫院 平町田町(電六九一)

專門耳鼻咽喉科 高柳咽喉科醫院 平町藤屋(電三三三)

吉田眼科病院 平町紺屋町 電話六八八番

生花教授 須藤まつ子の 池ノ坊 生花を藝切丁等に御教授いたし...

自然の錦繡と呼應して 秋を彩る美術の殿堂

平町に開催の各種繪畫展

愈々更け行く秋と共に地方に賑わいを承つて十一月十番等約二百點が近頃秋を飾るに『美術の秋』の催しが一日から三日間第二校に開催されることとなる。二校の今年度發表展が来る二十三日、四の両日平日四丁目マルトモホールで開かれ各種約六十點が公開される。皮切りに来月中旬又は下旬には磐中文會並に美術會が合同展の前編に於いて精彩を放ち、磐中卒業生関係の白鷺會亦その能と力を彩管に托して地方同好者等を魅せしめ、縣圖書教育研究所會石城支部が郡下小學校教員を動員して開く創立第一回の教員繪畫展は晚秋の

誇る石城産木炭

來月福島で開催の聯合共進會へ出陣

市場

郡下農村工業施設

小名濱の水産製造

農村工業化については政府の方針により縣では東北地方特別農村工業施設並に一般農村工業施設の計画を進めてきたが、農林大臣が指定された、特別農村工業より正式指定の指令が届くまで、特別農村工業の計画は、特別農村工業一園を區に設け、縣並に縣から夫々半額の補助金、補助金を交付することに努め、補助金、補助金を交付することに努めた。特別農村工業一園を區に設け、縣並に縣から夫々半額の補助金、補助金を交付することに努めた。

神宮出場を目指す 少年剣豪の奮闘

けふ第一校で豫選試合

縣体育協會石城支部では今年度見事な成績を挙げ、龍虎十九日午後一時から本第一相持の熱戦を見せた。なほ今年に神宮大會第一次豫選大会優勝者は来る二十四日、年部剣道大會を催し郡下の福島市武蔵殿の縣選に出陣道を實施してゐる各小學校である。

住み口を捜して 極力除隊兵を優遇

平紹介所の新方針

除隊兵優遇の聲は非常時局に、これが就職斡旋に關して際して最近各方面に叫ばれても各職業紹介所で一層力

山間部に水霜

廿五年來の低温で 冷害を憂ふ地方農村

本郡地方は数日來低温に見舞われ去る十六日朝は山間部は勿論平垣平町方面でも水霜に襲はれ、振氏九度九分と言ふ低温で、九月の中旬の温度とは思はず、中旬の気温で明治四十四年、以來の事と言はれ、山間部の晩生水霜は今後天候が回復しても絶望と見られ、除隊兵の就職斡旋に關しては、從來の型を破つて、夫々職階と連絡をとり、從來以上廣範圍に

本社前簡易舗装工

來月中旬からの豫定

工場員募集

（各一名）

買つた賣らぬと

自動車を三台の採め

當惑の妻から

家出捜索願二つ

郷土の未發史跡を探る

鮎泳く鮎川河畔にて（歸省録）

記入は正確に

豫習に現れた共通的誤り

國調用紙への

記入は正確に

山間部に水霜

廿五年來の低温で

市場

來月福島で開催の聯合共進會へ出陣

郡下農村工業施設

小名濱の水産製造

東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島町電話二四〇番
郵便局電話二四〇番
三十三月八日
日三三三三
日元元元
日元元元

買つた賣らぬと
自動車を三台の採め
關對芹澤來月へ審理續行
自動車を三台を續つて千五百九日內妻増田マスから何れを買つたものである、いも平等に捜索方願ひ出た
△那蘇特禁止令下
（寛永一五）△新選組
芹澤明暗殺（文
九三）△輪轉印刷機初
入明治二三）△新舞子並
に小名濱築港道路縣編入
を陳情（昭和九）
二十日
（小名濱裁判所開庭）
日五二二月出後一一〇六
日五三九九月後一一二四
日五三九九月後一一二五
日五三九九月後一一二六
日五三九九月後一一二七

當惑の妻から
家出捜索願二つ
東白川郡原村大字川上給
木勝吉（三）は六月三日妻の
スチ子供一人を殺して家
出行方不明になつてゐたが
去る赤井嶽嶽附近の
ものが見かけたと言ふので
スチから、又栃木縣警部
警根村大字關谷長恒金次郎
（三）は四年前無断家出した
が最近内村方面の炭山に
働いてゐる形跡あるもので十
なる住所氏名不詳の男から
抄した

郷土の未發史跡を探る
鮎泳く鮎川河畔にて（歸省録）
宿の南嶺、北面に突出して
をる山上に所在する。此處
を前記の共有墓地に使用し
たのは推測後からした。元
來上、下宿や鴨澤の專用墓
なる居城か、或は上代土民村、斯の小屋の死者をして
の顯著地下を支配して横の階級の示威を表現してゐる
てゐた者の何れであらうではないか
乃ち村の永遠の開發、創
造の恩人に對する墓碑、塔
近所の墓石を非と瞥見した石は餘りにも小さく、殆ど

買つた賣らぬと
自動車を三台の採め
關對芹澤來月へ審理續行
自動車を三台を續つて千五百九日內妻増田マスから何れを買つたものである、いも平等に捜索方願ひ出た
△那蘇特禁止令下
（寛永一五）△新選組
芹澤明暗殺（文
九三）△輪轉印刷機初
入明治二三）△新舞子並
に小名濱築港道路縣編入
を陳情（昭和九）
二十日
（小名濱裁判所開庭）
日五二二月出後一一〇六
日五三九九月後一一二四
日五三九九月後一一二五
日五三九九月後一一二六
日五三九九月後一一二七

當惑の妻から
家出捜索願二つ
東白川郡原村大字川上給
木勝吉（三）は六月三日妻の
スチ子供一人を殺して家
出行方不明になつてゐたが
去る赤井嶽嶽附近の
ものが見かけたと言ふので
スチから、又栃木縣警部
警根村大字關谷長恒金次郎
（三）は四年前無断家出した
が最近内村方面の炭山に
働いてゐる形跡あるもので十
なる住所氏名不詳の男から
抄した

郷土の未發史跡を探る
鮎泳く鮎川河畔にて（歸省録）
宿の南嶺、北面に突出して
をる山上に所在する。此處
を前記の共有墓地に使用し
たのは推測後からした。元
來上、下宿や鴨澤の專用墓
なる居城か、或は上代土民村、斯の小屋の死者をして
の顯著地下を支配して横の階級の示威を表現してゐる
てゐた者の何れであらうではないか
乃ち村の永遠の開發、創
造の恩人に對する墓碑、塔
近所の墓石を非と瞥見した石は餘りにも小さく、殆ど

貨切の御用命は是非
電話一一一七番へ
親切丁寧、流線形
安全第一、最優良車設備
サウスイズモーター
平町四丁目
鈴木自動車部

江戸前
海老天婦羅
天丼
親子丼
お茶屋
酒蔵家
電話一七二番

初秋の旅に
素晴しい乗心地の
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申
します。

大和田醫院
平町南町一六番地
電話一七〇番

三井タウシー
電話六八五番

西村屋薬舗
平二・電三

ポニイ
活動撮影機 ￥18.00
活動映寫機 ￥17.00

腸胃病性病性
胃腸病科
性病科
皮膚科
院醫科性病村松
（番七〇一電町南町平）

花柳病科
婦人科
産科
井坂醫院
平町田町
電話五五九番